

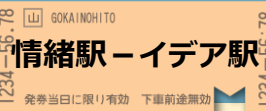
<ごかい1号>

風力や太陽光による発電を増やせば、原発はなくせるのではないですか

学習内容の定点

アイデア駅 志の人

- 一. 町の全貌を見渡す俯瞰的視点
- 二. 世界観の醸成
- 三. 国際的視点から偏向報道を批判

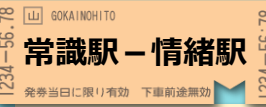


アイデア的側面:

- 俯瞰性 (1) 複数のエネルギー源を国情に合わせ組み合わせ合わせてエネルギーベストミックスを実現する。
- 俯瞰性 (2) 自然エネルギーの利害得失を理解する。幻想は禁物。
- 俯瞰性 (3) 分散型電源、集約型電源の特徴を生かした電力供給体制の実現。
- 俯瞰性 (4) 電力改革、発送電分離問題、原子力FIT問題、地球温暖化防止対策、などを勘案した総合的システムの設計。

情緒駅 [科学+常識+情緒]の人

- 一. 恐怖・呪縛という心理を分析する
- 二. “空気”と“呪縛”に“水”を差す方法
- 三. “情緒の自由”と“共同体のルール”。多数決の原理を採用



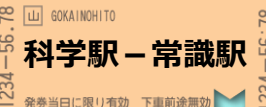
常識駅 - 情緒駅

情緒的側面:

- 情緒 (1) : 広島・長崎の被爆経験や福島原発事故は強烈なアンカー効果を生んだ。“原発否定”につながっている。このような捉え方でよいか。
- 情緒 (2) : 中東での紛争で化石燃料の輸入が制限される事態に備える。原子力はエネルギー安全保障と環境保全に不可欠。これを正のアンカーにする。
- 情緒 (3) : 高レベル廃棄物に関する拒否感は何がアンカーかを考える。作られた先入観かどうか、常識に基づいて検討してみる。
- 情緒 (4) : 福島事故を無限大の事故と捉えてはならない。財産損害は取り返せる。人は死ななかつた。

常識駅 [科学+常識]の人

- 一. “量”を問題にする
- 二. 「日常生活に支障があるか、ないか」を判断基準にする
- 三. PDCAをまわす組織は信頼性が高い



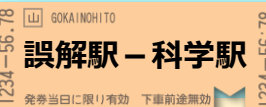
科学駅 - 常識駅

常識的側面:

- 常識 (1) : 再エネには固定価格制度 (FIT) の援助が不可欠。再エネの割合を増やせば電気料金が急騰するため国民や企業負担が急増します。中小企業の倒産などが顕在化しています。
- 常識 (2) : 東電の135万Kwの原発が2基再稼働すれば、3500億円の黒字になるとの報道がありました。原発のコストに関するマスコミの報道は何かおかしい。実態を良く知っている電力は自然エネの導入に消極的なのです。日本経済のためには再エネより、原発の活用です。これが禁句になっていることが問題。
- 常識 (3) : 政府のエネルギー基本計画では2030年には原子力20~22%、再エネは22~24%としています。原子力がベースロード電源で再エネは調整電源という役割。
- 常識 (4) : 自然エネはスペインで破綻している。ドイツでは問題が生じつつある。場所に依存する。

科学駅 科学の人

- 一. 誤解の科学的側面を明確にする
- 二. 科学は“判断”に関係なく、常識は“量”を問題にする。



誤解駅 - 科学駅

科学的側面:

- 特徴 (1) : 原発同様、太陽光発電、風力発電も二酸化炭素を出しません。両者とも純国産エネルギーで、無尽蔵です。
- 特徴 (2) : 原発は常時発電可能だが、自然エネは天候に左右され、不安定で稼働率が低い。コストも高い。
- 特徴 (3) : 再エネは分散型エネルギーで、利点もあれば欠点もある。電気の周波数が一定していないため、高品質の製品を作れません
- 特徴 (4) : 自然エネは不安定なため電力配電の主系統に組み入れるのは危険です。家庭用電源とか末端の系統に接続されます。従って、原子力との協調が不可欠です。

誤解駅 誤解の人

- 目星をつける:
 - 一. 誤解の特徴を明確にする
 - 二. 誤解を科学的、常識的、情緒的側面に分解する